

女性芸能人専用特別監獄 魅惑の豆腐ボディ編 その1

この国の全男性の理想の女性の一人...恋愛リアリティ番組で一躍知名度を上げて人気者になった掛井美奈子。その柔らかな雰囲気とGカップの豊満なバストから付いた「豆腐ボディ」という異名は、そのプルプルとした肉感を実によく表していた。そんな掛井が、自動車で人身事故を起こしてしまう。しかもその罪状に飲酒とひき逃げも加わるというニュースは、全国に衝撃を与えた。

結婚、出産をして間もない掛井は、失意と後悔の中でこの「女性芸能人専用」の矯正刑務所へと送られた。

「さ、こっちやで。歩いて」

「はい...」

長身の刑務官、古山に連れられて、掛井は力なく施設の廊下を歩く。

「ほら、しゃんとして！これから、ここのお医者先生の先生に診てもらうんやから！」

「診察があるんですか？」

「そうやで」

「入ったばかりなのに？みんなそうなんですか？」

「よそは知らんけど、うちは、受刑者が入って来たらみんなこの検診をうけるよ」

「...そうなんですか...」

「掛井さんみたいな人は、念入りに診てもらえるよ」

「それはどういう意味ですか？」

「いわずもがな、やがな...うふふ」

古山は掛井の質問には答えず、掛井の、作業服を下から押し上げる胸のふくらみをじろりと見て、含み笑いをした。施設の決まりでブラジャーをつけていない掛井の胸は、作業服が窮屈に張り付き、服の上からでもその弾力と量感が伝わって来る。

(可愛い人やと思っていたけど生で見たら、ホンマにまんまるでプルプルや...豆腐ボディとはよう言うたもんやで...)